

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	3790100022		
法人名	エム・シーエス四国株式会社		
事業所名	愛の家 グループホーム高松成合		
所在地	香川県高松市成合町581番地		
自己評価作成日	令和元年 11月30日	評価結果市町受理日	令和2年3月16日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

平屋建てのコの字型の造りになっており、周囲を田んぼと畑に囲まれている為、静かで開放感があり、ユニット間の交流を日常的にかつ、自然に行うことができます。当ホームでは家庭的で落ち着いた雰囲気の中、できる限り自立した生活を送れるように支援しています。運営推進会議を通してご家族様はじめ、民生委員、包括支援センターの方々に参加頂き、幅広い方面からの助言を頂き、ホーム運営に活かしています。

基本情報リンク先

<http://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/37/>

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	株式会社アストリーム・アライアンス		
所在地	香川県さぬき市津田町鶴羽2360-111		
訪問調査日	令和元年12月20日		

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点】

周囲が静かな田園地帯にある平屋でユニットの建物が廊下でつながるコの字型の事業所である。建物間に中庭があり、どの部屋も採光が良く、明るく暖かくなっている。職員は少人数ながら明るく元気な職員が多く、高齢で介護度が高くなった入所の世話に励まれている家族的な事業所である。看取り介護も、家族や利用者の意向により、往診の医師等の協力も得て実施されている。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25) ○	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19) ○
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38) ○	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20) ○
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38) ○	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4) ○
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目:36,37) ○	66	職員は、生き活きと働けている (参考項目:11,12) ○
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49) ○	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う ○
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31) ○	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う ○
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目:28) ○		

自己評価および外部評価結果

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	ご入居者様とご家族様に、より質の高い介護サービスを提供するために、3つの運営理念を掲げています。朝礼時に唱和を行い、常に理念を意識した介護が取り組めるようにしています	事業所は企業の運営理念を掲げて、実践している。理念を意識して職員は介護に従事している	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	以前からのボランティアは活動休止となっており、現在は新しいボランティアを探している。毎週火曜日にヤクルトの訪問販売に来て頂いている	以前から来られていたボランティアが高齢となり休止するなど地域との交流事業が全体的に減少傾向にある。現在、新たに来てくれる方や方法を模索されている最中である	利用者がより地域に溶け込み、更にメリハリのある日常生活が遅れるよう、地域との交流の広がりやボランティアの受入れ拡大などに期待します
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	運営推進会議を通じて、民生委員や家族会のメンバーから地域の情報提供を頂くとともに、実践を通じて得られた認知症に対する理解や支援の方法の情報提供を行っています		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議は、定期的開催しており、サービスの提供状況について報告や話し合いを行なっています。また、議事録に残し閲覧できるようにしております	運営推進会議は定期的な開かれ、地域包括支援センターや民生委員・家族が参加し、事業所の活動報告や運営報告がされている。質疑応答等も行われており、議事録も閲覧できるようになっている	
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	介護保険課の担当者とは頻りに連絡を取り、介護保険に係る情報を提供頂いたり、市主催の説明会には参加するように努めています	運営推進会議には包括支援センターの職員が参加してサービスに実施状況を理解してもらっている。介護保険課への報告や相談事も行い、協力関係を築く様努められている	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	事業所内研修で身体拘束について研修を行い、身体拘束をしないケアを実践しています。但し、正面玄関口については、行方不明になられるリスクを回避するため、鍵を施錠しています	事業所では、日頃のミーティング等での注意事項に加え、身体拘束の研修文書を交付し各自が自習も行っている。拘束については、帰宅願望の強い一人の方の対応に苦慮され、必要時のみ正面玄関は施錠されている	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	事業所内研修で「高齢者虐待防止法」について研修を行い、事業所内で虐待が起こらないように、また見過ごされないように徹底して注意を払っています。各ユニットに虐待マニュアルを設置しており、いつでも閲覧できるようにしています		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	事業所内研修で「成年後見人制度」について研修を行っています。また、日常生活自立支援事業や成年後見制度の利用が必要な対象者には、相談や助言を行なっています		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約の締結時には、ご入居者様とご家族等が十分な理解と納得が得られるように、時間を掛けて説明しています		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	事業所内に苦情相談窓口を設け、また「苦情相談窓口一覧」を掲示し、ご意見、不満や苦情を管理者や、外部者に表せる機会を設けています。また、玄関口に「ご意見箱」を設置しています。その他、ご家族様アンケートを年1回実施しており、そこで上がった指摘事項について改善を行っています	玄関近くにご意見箱が置いてあり、掲示物やファイルにした資料などいつでも見られるように配置されている。年1回は家族のアンケートがあり、アンケート結果も綴じられている。月1回は請求書と一緒に利用者の写真や記録などを発送され、家族との関係が深められている	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	ユニット会議、リーダー会議を開催し、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させています。職員満足度アンケートを年1回実施しており、そこで上がった意見や提案を反映させています	管理者と職員は職場で毎日顔を合わせているので、何でも話が出来る関係にあり、現場で解決できないことは管理者がエリアマネージャーに相談し会社と協議されている。協議の結果は管理者を通じ反映されている。年1回職員のアンケートも運営に活かされている	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	コンピテンシー評価(職能評価)があり、努力や実績、勤務状況に応じて評価する制度があります		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	事業所内研修を定期的に行ない、ケアの質を向上するための勉強の機会を確保しています。また、中途入職者に対しては、事業所の理念の理解や、適切な介護技術・知識を習得できるように教育プログラムを実施しています		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	市主催の勉強会や研修会に参加して、地域の同業者と意見交換会など交流を深めるように努めています。また、定期的に他事業所に挨拶廻りに出向き、近況報告を行っています		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居前に、ご本人様と面談を行い、現在の生活状況や心身の状態、ご希望やお困り事等の把握に努めています		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入居前に、ご家族様と面談を行い、お困り事、不安な事、ご希望をお伺いするようにしています		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	相談を受けた時に、ご本人様とご家族様が必要としている支援を見極め、必要な支援が受けられるように努めています。心身の状況やご希望によっては、他サービスの利用をご案内しております		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	ご入居者様の残存能力を活かして生活できるように、できることはして頂けるように環境や条件を整える援助をしています。長い人生経験の中で培われた知恵や教訓、料理や手芸などを教えて下さることもあり、暮らしをともにする関係を大切にしています		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご家族様と一緒に、ご本人様にとって必要な援助を考えるようにしています。毎月一回は手紙にて近況報告を行うとともに、行事のご案内を差し上げ、ご入居者様と一緒に支える機会を設けるように努めています		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ご入居者様に関わりのある方々のご面会は、ご家族様の承諾を得て一緒に楽しんで頂き、馴染みの人との関わりが継続して行なえるように支援しています	家族の面会はあまり多くない様子、知人や近所の人との交流には訪問時にゆっくり過ごせるよう配慮がなされている	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずにご利用者が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者同士で、ご歓談を楽しまれたり、関わり合いが持てるようにしています。他のご入居者様との関わりがもつことが難しい場合は、職員とのコミュニケーションの機会をもつようにしています		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退居後のご様子をご家族様に確認するようにしている。ご家族様の承諾を得て転居先の施設への面会やお見舞いに伺わせて頂いています		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	意思疎通ができる場合は、希望や意向に沿った支援に努めています。意思疎通が困難な場合は、ご家族様の希望・意向や生活歴から本人本位の支援が行えるように努めています	本人や家族等との面会時に尋ねたり、アセスメントなどから意向に関する情報が得られている。困難な場合には本人の表情や仕草を読み取りながら、検討がなされている	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居時のアセスメントや面会時に、ご本人様とご家族様から生活歴や生活習慣などの情報収集を行い把握に努めています。また、入居前に介護サービス・医療サービスを利用していた場合は、担当者から情報提供書を依頼することで、これまでのサービス利用の経過の把握を行なっています		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	一人ひとりの思いやご意向に沿って、一日の過ごし方を一緒に考え、現在のできる能力を活かした生活ができるように支援しています		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ご本人様やご家族様のご意向やご要望を伺い、話し合いを行った上で介護計画を作成しています	日常の世話をしている職員の発案や医療関係者、家族等と介護について話し合い、より良い暮らしが出来るよう計画策定されている	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	ケア日報、介護記録、バイタルチェック表、排泄チェック表、申し送りノート等を活用して記録を行い、職員間で申し送りをし、情報の共有を行っています		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	急な体調不良の受診の付き添いや、外出希望時の同行等、ご入居者様やご家族様のその時々状況に応じて支援を行っています		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	運営推進会議に民生委員の方に出席頂き、情報交換をしている。今後は地域自治会へのアプローチを行っていく		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	ご入居者様やご家族様のご希望を伺い、協力医療機関の往診、あるいは入居前のかかりつけ医への受診をして頂いています	入所時にかかりつけ医について利用者や家族と相談し、主治医が決められている。協力医療機関への希望者が多く、往診はほぼ毎日ある。急な受診等には出来るだけ職員が付き添いするよう配慮されている	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	介護職と看護職の連携を図り、ご入居者様の日常の健康管理やかかりつけ医との連携を行っています		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時には医療機関に情報提供を行い、入院中も担当看護師や相談員にご様子を伺うなど、医療機関との連携を図っています。また、退院時には、円滑に受け入れができるように医療機関と連携を図っています		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	ご入居者様へご家族様に、重度化した場合や終末期のご意向を伺うように努めています	入所時より重度化や看取りについて本人や家族等と話し合いが持たれ、状態の変化の度にも行われており、事業所の出来ることも伝えられている。事業所での看取りには医師や家族の協力があり取組が行われている	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	救急対応マニュアルの掲示を行い、緊急時に職員が落ち着いて適切に対応ができるようにしています		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	所轄消防署の立会いのもと消防訓練を実施しており、ご入居者様の避難誘導の模擬訓練を行っています。また、防災対策マニュアルを作成して、職員に周知しています	防災訓練は定期的で開催されており、消防署の立ち合いで避難訓練も行われている。中庭を避難場所に訓練を行い防災対策マニュアルも作成されている。近隣の住民との協力関係も模索されている	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	全体会議や研修でご入居者様に対する言葉遣いや対応について話し合い、尊敬の気持ちを込めた言葉遣い・対応を心掛けて行っています。記録についてもプライバシーに配慮した記録を行い、ご入居者様に目の届かない場所で保管するよう配慮しています	利用者は比較的高齢で介護度も高い方が多く、一人ひとりに大きな声で丁寧に話しかけないと返事が返らない様子。職員はゆっくり丁寧に声をかけており、利用者はなるべく楽な姿勢を保ちながらお話などされている	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	ご入居者様のその時々のお思いを傾聴しながら、ご自分の意思で自己決定できるように支援しています		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	ご入居者様の個々の生活のペースを大切にしながらした援助を行っています		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	ご本人様やご家族様のご意向に沿って、訪問理美容の導入を行っています。また、馴染みの理美容店がある方は希望時に送迎等の支援を行っており、ご家族様による染髪やカット等も協力依頼をしています		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	ご入居者様の個々のできる力に合わせて、食事の準備や後片付け、配膳や下膳のお手伝いを職員と一緒にしています	全体の献立の目安はあるが、地産地消にアレンジし、地元で食材を購入するなどしてユニットで調理がなされている。利用者はできる所で準備や片付けを職員と一緒にしている	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	バイタルチェック表を用いて一日の食事量・水分量を把握し、一人ひとりの必要量が確保できるように努めています。また、体調に合わせて食事形態を変更したり、補食でおぎなう等の工夫をしています		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じて、口腔ケアの支援を行っています。また、食前に手洗い・うがいをし、また嚥下体操を取り入れています		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	排泄チェック表を活用し、一人ひとりの排泄のパターン、習慣を把握し、できる限りトイレでの排泄ができるように支援しています	日中はトイレで排泄しているため、介助は2人で対応されている方もいる。また、骨折等の理由でポータブルトイレを使用されている方もいる。夜間は睡眠を優先しているため、トイレでの排泄は自分で行ける方のみである	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	排泄チェック表を活用して、一人ひとりの排便の間隔を把握し、昼食前にはラジオ体操を行い、身体を動かす機会を確保しています。また、個々の状態に応じて乳製品の飲食物を摂って頂くなどの工夫をしています		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	ご入居様様の一人ひとりに入浴に関する希望をお聞きし、できるだけ希望に沿った曜日・時間帯で入浴を楽しんで頂けるように工夫していきたい	日曜日以外は入浴を実施し、少人数でゆっくり入浴されている。一人週2回以上の入浴となっている	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	一人ひとりの生活習慣や状況に応じて、休息をとって頂いたり、睡眠をとって頂いています。また、廊下に休憩椅子を設けたり、ソファや畳敷きの場所を設ける等して、自由に休息して頂けるよう環境を整えています		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬の変更・中止・追加があった場合は、その後の体調の変化に留意し、普段と変わった様子があれば速やかに主治医に報告するようにしています		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	ご入居様様個々の生活歴や生活習慣、ご趣味をお伺いし、現在のできる力に合わせて自立支援を行い、その方にあった生活の実現に向けて支援しています		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	職員が同行しての散歩や、ご入居様様の日用品の買物など、戸外に出掛けられるように支援しています。また、ご家族様の協力を依頼して、ご家族様との外出の機会も得られるように支援しています	外出支援はあらかじめ予定を組まないとなかなか、家族の協力も少ない様子。天気の良い日に中庭で日光浴をする等外に出る機会が持たれている	利用者が日常的に近所に出かけることで、生活にメリハリがつくとともに、事業所に対しての理解や認知度も増し、地域での協力体制も強くなると考えられます。散歩やちょっとした買物など日々の外出活動の増加に期待します

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	事業所の金庫でお預かりしています。今後は、ご入居者様のご要望に応じて、お預かりしているお金をお渡しし、ご本人様でお支払いして頂ける支援を検討致します		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	ご入居者様からのご希望があれば、お電話をご利用頂けるように支援をしています		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共用の廊下部分には、事業所内で催した行事の写真を掲示し、ご入居者様やご家族様に楽しんで頂いています。季節感のある装飾も取り入れ、その時々季節の楽しみを味わって頂けるように工夫しています	玄関は広く、木目の床に上ると、壁に掲示物があり、書類のファイルも閲覧出来るようになっている。リビングルームは和室があり、広く明るい。ガラス戸からは中庭を挟んで向かいのユニットが見える。ダイニングでは食事が作られ、利用者はゆっくりリラックスしている	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	共用リビングにはソファを設け、気の合ったご入居者様同士でご歓談を楽しまれたり、ひとりでゆっくり過ごせるように工夫しています。また、足を伸ばして休める場所として、畳敷きの場所も用意しています		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室には、使い慣れたものや大切なものをお持込頂き、できるだけご自宅に近い環境の中で、安心してご生活できるようにご本人様とご家族様に相談させて頂いています	居室は固定された洋服ダンスがあり、ベッドや寝具は持参されている。仏壇や家具も自宅から持ち込まれており、本人や家族と相談しながらその人らしい部屋作りがなされている	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	ご入居者様一人ひとりのできる力・わかる力を活かして、ご本人様をご自分で行って頂けるように環境や条件を整える支援を心掛けています。自分の居室やトイレの場所がわかりやすいように目印を付ける工夫をしています		

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します							
項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印		項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)		1. ほぼ全ての利用者の	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と
		○	2. 利用者の2/3くらいが				2. 家族の2/3くらいと
			3. 利用者の1/3くらいが				3. 家族の1/3くらいと
			4. ほとんど掴んでいない				4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○	1. 毎日ある	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)		1. ほぼ毎日のように
			2. 数日に1回程度ある				2. 数日に1回程度
			3. たまにある				3. たまに
			4. ほとんどない			○	4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○	1. ほぼ全ての利用者が	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)		1. 大いに増えている
			2. 利用者の2/3くらいが				2. 少しずつ増えている
			3. 利用者の1/3くらいが			○	3. あまり増えていない
			4. ほとんどいない				4. 全くいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○	1. ほぼ全ての利用者が	66	職員は、活き活きと働けている (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が
			2. 利用者の2/3くらいが				2. 職員の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが				3. 職員の1/3くらいが
			4. ほとんどいない				4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)		1. ほぼ全ての利用者が	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが				2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが				3. 利用者の1/3くらいが
		○	4. ほとんどいない				4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が
			2. 利用者の2/3くらいが				2. 家族等の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが				3. 家族等の1/3くらいが
			4. ほとんどいない				4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○	1. ほぼ全ての利用者が				
			2. 利用者の2/3くらいが				
			3. 利用者の1/3くらいが				
			4. ほとんどいない				

自己評価結果

自己	外部	項目	自己評価
			実践状況
I. 理念に基づく運営			
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	ご入居者様とご家族様に、より質の高い介護サービスを提供するために、3つの運営理念を掲げています。朝礼時に唱和を行い、常に理念を意識した介護が取り組めるようにしています
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	以前からのボランティアは活動休止となっており、現在は新しいボランティアを探している。毎週火曜日にヤクルトの訪問販売に来て頂いている
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	運営推進会議を通じて、民生委員や家族会のメンバーから地域の情報提供を頂くとともに、実践を通じて得られた認知症に対する理解や支援の方法の情報提供を行っています
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議は、定期的を開催しており、サービスの提供状況について報告や話し合いを行なっています。また、議事録に残し閲覧できるようにしております
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	介護保険課の担当者とは頻繁に連絡をとり、介護保険に係る情報を提供頂いたり、市主催の説明会には参加するように努めています
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	事業所内研修で身体拘束について研修を行い、身体拘束をしないケアを実践しています。但し、正面玄関口については、行方不明になられるリスクを回避するため、鍵を施錠しています
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	事業所内研修で「高齢者虐待防止法」について研修を行い、事業所内で虐待が起こらないように、また見過ごされないように徹底して注意を払っています。各ユニットに虐待マニュアルを設置しており、いつでも閲覧できるようにしています

自己	外部	項目	自己評価
			実践状況
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	事業所内研修で「成年後見人制度」について研修を行っています。また、日常生活自立支援事業や成年後見制度の利用が必要な対象者には、相談や助言を行なっています
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約の締結時には、ご入居者様とご家族等が十分な理解と納得が得られるように、時間を掛けて説明しています
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	事業所内に苦情相談窓口を設け、また「苦情相談窓口一覧」を掲示し、ご意見、不満や苦情を管理者や、外部者に表せる機会を設けています。また、玄関口に「ご意見箱」を設置しています。その他、ご家族様アンケートを年1回実施しており、そこで上がった指摘事項について改善を行っています
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	ユニット会議、リーダー会議を開催し、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させています。職員満足度アンケートを年1回実施しており、そこで上がった意見や提案を反映させています
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	コンピテンシー評価(職能評価)があり、努力や実績、勤務状況に応じて評価する制度があります
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	事業所内研修を定期的に行ない、ケアの質を向上するための勉強の機会を確保しています。また、中途入職者に対しては、事業所の理念の理解や、適切な介護技術・知識を習得できるように教育プログラムを実施しています
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	市主催の勉強会や研修会に参加して、地域の同業者と意見交換会など交流を深めるように努めています。また、定期的に他事業所に挨拶廻りに出向き、近況報告を行っています

自己	外部	項目	自己評価
			実践状況
Ⅱ. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居前に、ご本人様と面談を行い、現在の生活状況や心身の状態、ご希望やお困り事等の把握に努めています
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入居前に、ご家族様と面談を行い、お困り事、不安な事、ご希望をお伺いするようにしています
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	相談を受けた時に、ご本人様とご家族様が必要としている支援を見極め、必要な支援が受けられるように努めています。心身の状況やご希望によっては、他サービスの利用をご案内しております
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	ご入居者様の残存能力を活かして生活できるように、できることはして頂けるように環境や条件を整える援助をしています。長い人生経験の中で培われた知恵や教訓、料理や手芸などを教えて下さることもあり、暮らしをともにする関係を大切にしています
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご家族様と一緒に、ご本人様にとって必要な援助を考えるようにしています。毎月一回は手紙にて近況報告を行うとともに、行事のご案内を差し上げ、ご入居者様と一緒に支える機会を設けるように努めています
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ご入居者様に関わりのある方々のご面会には、ご家族様の承諾を得て一緒に楽しんで頂き、馴染みの人との関わりが継続して行なえるように支援しています
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずにご利用者が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者同士で、ご歓談を楽しまれたり、関わり合いが持てるようにしています。他のご入居者様との関わりがもつことが難しい場合は、職員とのコミュニケーションの機会をもつようにしています
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退居後のご様子をご家族様に確認するようにしている。ご家族様の承諾を得て転居先の施設への面会やお見舞いに伺わせて頂いています

自己	外部	項目	自己評価
			実践状況
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント			
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	意思疎通ができる場合は、希望や意向に沿った支援に努めています。意思疎通が困難な場合は、ご家族様の希望・意向や生活歴から本人本位の支援が行えるように努めています
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居時のアセスメントや面会時に、ご本人様とご家族様から生活歴や生活習慣などの情報収集を行い把握に努めています。また、入居前に介護サービス・医療サービスを利用していた場合は、担当者から情報提供書を依頼することで、これまでのサービス利用の経過の把握を行なっています
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	一人ひとりの思いやご意向に沿って、一日の過ごし方を一緒に考え、現在のできる能力を活かした生活ができるように支援しています
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ご本人様やご家族様のご意向やご要望を伺い、話し合いを行った上で介護計画を作成しています
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	ケア日報、介護記録、バイタルチェック表、排泄チェック表、申し送りノート等を活用して記録を行い、職員間で申し送りをを行い、情報の共有を行っています
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	急な体調不良の受診の付き添いや、外出希望時の同行等、ご入居者様やご家族様のその時々状況に応じて支援を行っています

自己	外部	項目	自己評価
			実践状況
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	運営推進会議に民生委員の方に出席頂き、情報交換をしている。今後は地域自治会へのアプローチを行っていく
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	ご入居者様やご家族様のご希望を伺い、協力医療機関の往診、あるいは入居前のかかりつけ医への受診をして頂いています
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	介護職と看護職の連携を図り、ご入居者様の日常の健康管理やかかりつけ医との連携を行っています
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時には医療機関に情報提供を行い、入院中も担当看護師や相談員にご様子を伺うなど、医療機関との連携を図っています。また、退院時には、円滑に受け入れができるように医療機関と連携を図っています
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	ご入居者様へご家族様に、重度化した場合や終末期のご意向を伺うように努めています
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	救急対応マニュアルの掲示を行い、緊急時に職員が落ち着いて適切に対応ができるようにしています
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	所轄消防署の立会いのもと消防訓練を実施しており、ご入居者様の避難誘導の模擬訓練を行っています。また、防災対策マニュアルを作成して、職員に周知しています

自己	外部	項目	自己評価
			実践状況
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援			
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	全体会議や研修でご入居者様に対する言葉遣いや対応について話し合い、尊敬の気持ちを込めた言葉遣い・対応を心掛けて行っています。記録についてもプライバシーに配慮した記録を行い、ご入居者様に目の届かない場所で保管するよう配慮しています
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	ご入居者様のその時々のお考えを傾聴しながら、ご自分の意思で自己決定できるように支援しています
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	ご入居者様の個々の生活のペースを大切にしながら支援を行っています
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	ご本人様やご家族様のご意向に沿って、訪問理美容の導入を行っています。また、馴染みの理美容店がある方は希望時に送迎等の支援を行っており、ご家族様による染髪やカット等も協力依頼をしています
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	ご入居者様の個々のできる力に合わせて、食事の準備や後片付け、配膳や下膳のお手伝いを職員と一緒にしています
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	バイタルチェック表を用いて一日の食事量・水分量を把握し、一人ひとりの必要量が確保できるように努めています。また、体調に合わせて食事形態を変更したり、補食でおぎなう等の工夫をしています
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じて、口腔ケアの支援を行っています。また、食前に手洗い・うがいをし、また嚥下体操を取り入れています

自己	外部	項目	自己評価
			実践状況
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	排泄チェック表を活用し、一人ひとりの排泄のパターン、習慣を把握し、できる限りトイレでの排泄ができるように支援しています
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	排泄チェック表を活用して、一人ひとりの排便の間隔を把握し、昼食前にはラジオ体操を行い、身体を動かす機会を確保しています。また、個々の状態に応じて乳製品の飲食物を摂って頂くなどの工夫をしています
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	ご入居様様の一人ひとりに入浴に関する希望をお聞きし、できるだけ希望に沿った曜日・時間帯で入浴を楽しんで頂けるように工夫していきたい
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	一人ひとりの生活習慣や状況に応じて、休息をとって頂いたり、睡眠をとって頂いています。また、廊下に休憩椅子を設けたり、ソファや畳敷きの場所を設ける等して、自由に休息して頂けるよう環境を整えています
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬の変更・中止・追加があった場合は、その後の体調の変化に留意し、普段と変わった様子があれば速やかに主治医に報告するようにしています
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	ご入居様様個々の生活歴や生活習慣、ご趣味をお伺いし、現在のできる力に合わせて自立支援を行い、その方にあった生活の実現に向けて支援しています
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	職員が同行しての散歩や、ご入居様様の日用品の買物など、戸外に出掛けられるように支援しています。また、ご家族様の協力を依頼して、ご家族様との外出の機会も得られるように支援しています

自己	外部	項目	自己評価
			実践状況
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	事業所の金庫でお預かりしています。今後は、ご入居者様のご要望に応じて、お預かりしているお金をお渡しし、ご本人様でお支払いして頂ける支援を検討致します
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	ご入居者様からのご希望があれば、お電話をご利用頂けるように支援しています
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共用の廊下部分には、事業所内で催した行事の写真を掲示し、ご入居者様やご家族様に楽しんで頂いています。季節感のある装飾も取り入れ、その時々季節の楽しみを味わって頂けるように工夫しています
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	共用リビングにはソファを設け、気の合ったご入居者様同士でご歓談を楽しまれたり、ひとりでゆっくり過ごせるように工夫しています。また、足を伸ばして休める場所として、畳敷きの場所も用意しています
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのおものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室には、使い慣れたものや大切なものをお持込頂き、できるだけご自宅に近い環境の中で、安心してご生活できるようにご本人様とご家族様に相談させて頂いています
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	ご入居者様一人ひとりのできる力・わかる力を活かして、ご本人様にご自分で行って頂けるように環境や条件を整える支援を心掛けています。自分の居室やトイレの場所がわかりやすいように目印を付ける工夫をしています